

審議内容

○平成30年度第10回倫理委員会審議（平成31年2月21日）

申請者	診療部診療看護師	高以良 仁
課 題	2次救急外来に配置された診療看護師の診療の補助行為とリスク管理に関する実態調査	
判定結果	条件付承認	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書の6.調査期間は研究期間と混同するため削除すること。 患者説明文書の表記（患者さん、患者様）を統一すること。

申請者	消化器・乳腺外科医師	高橋 深幸
課 題	サージカルグローブ着用が末梢神経症状軽減に与える影響についての研究	
判定結果	条件付承認	<ul style="list-style-type: none"> 共同担当者を全て記載すること。 記録保存用のパスワード管理を厳重にすること。 対象者の利益・不利益を記載すること。 同意書（押印、代諾者）を修正すること。

申請者	循環器内科医師	山下 周
課 題	複数回の手術を要した心房細動に対する化学的アブレーションの有効性に対する検討	
判定結果	条件付承認	<ul style="list-style-type: none"> 患者説明文書の表記（患者さん、患者様）を統一すること。

※前回までの倫理委員会で条件付承認となっていた研究課題のうち本日までに承認された課題の報告

申請者	呼吸器内科医師	乾 俊哉
課 題	フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦のぜんそく患者における3年間予後の検討	
判定結果	承認	

申請者	循環器内科医師	福島 琢
課 題	急性冠症候群に続発する心的外傷後ストレス障害（PTSD）、うつ病の危険因子を検討する後向きコホート研究	
判定結果	承認	

申請者	看護部長	一家 順子
課 題	Balloon kyphoplasty 施術中における術者およびスタッフの被ばく線量の測定と放射線防護策についての考察	
判定結果	承認	

申請者	脳神経外科医長	重田 恵吾
課 題	脳卒中の医療体制の整備のための研究 J-ASPECT study (Nationwide survey of Acute Stroke care capacity for Proper designation of Comprehensive stroke center in Japan)	
判定結果	承認	

申請者	血液内科医長	竹迫 直樹
課 題	多発性骨髄腫患者に対するエロツズマブ、シナリドミド、デキサメサゾン併用療法（ERd）の安全性と有効性の後方視的検討	
判定結果	承認	

※迅速審査で承認された課題の報告

申請者	呼吸器内科医長	上村 光弘
課 題	院内がん登録を活用した胸膜プラークを持つ肺がん患者の実態調査	
判定結果	承認	